

温泉津地域の地形・地質に関する地域貢献

井 上 真

1. はじめに

島根の地域振興研究分科会は島根の豊かな自然景観、とりわけ世界遺産のある大田市の海岸地形に着目し平成 22 年度から今年度まで 3 年間活動をしてきた。初年度は大田市東部の波根町および久手町を主な研究対象とし、昨年度は銀の積出し港であった仁摩町鞆ヶ浦に舞台を移し海岸地形による地域振興を考えた。今年度は、温泉津地域の地形・地質（堂床山、銀山街道、福光石）による地域振興を考えることとした。

2. 活動の概要

8 月 5 日：下見（渡邊農、井上真）

銀山街道（温泉津・沖泊道）にある石階段、清水の石切り場等を踏査した。温泉津ふれあい館で昼食後、堂床山山麓の清水地域を踏査した。清水大師寺を訪問しお寺カフェで珈琲を飲みながら住職さんと、堂床山および周辺の自然の魅力、観光資源について意見交換を行った。

11 月 3 日：本調査（渡邊農、佐々木慶一、原裕二、三谷貢、片山直樹、坂田聖二、井上真）

大田市役所温泉津支所に集合し、支所からおよそ 1.3km の清水地区まで徒歩斑と車斑にわかれて移動した。清水地区の巨大転石、清水の金柄杓石階段を踏査後、清水大師寺で精進料理をいただいた。昼食後、巨大転石を利用した庭園を見学し、転石の起源である堂床山へ登った。車で坪内石材の福光石石切り場を見学した。

3. 堂床山

堂床山は大田市役所温泉津支所の西方およそ 1.8km に位置し、標高は 338m である。堂床山山頂付近は緩やかであるが、北西側斜面は高さ 50m 程度の急崖となり、その下部斜面には直径 5～8m を超える巨大な転石が多数分布している。堂床山の東側山麓から北側山麓にかけて銀山街道（温泉津・沖泊道）が通過しており、街道から急崖斜面や転石群を見ることができる。

地質は、200 万年前から 170 万年前ごろに活動した大江高山火山の噴出物であるデイサイト（石英安山岩）溶岩または火砕岩である。石英安山岩は硬質の石英粒を含んでおり岩肌が粗い特徴を有しているため、コケ着きがよく庭石に利用されるということである。清水地区では巨大な転石を縫うように町道が通過し（写真-1）、民家では転石を庭石に利用しており、転石を活かした独特な景観となる。



写真-1 町道沿いの転石

堂床山山頂へは清水大師寺の庭園を横切って転石の間を潜り抜けて登ることができる。所々にロープが張られているが歩道はないため慣れたガイド等の同行が必要である。急崖を間近に見ると、垂直方向に卓越した開口亀裂が認められる。過去にこの亀

裂に沿って大規模な崩壊が発生し、山裾に分布する転石を供給したと考えられる。



図-1 位置図「S:1:25,000 地形図温泉津、仁摩、大屋、浅利に加筆」

4. 清水大師寺

清水大師寺は、銀山街道から 2km 程度外れた堂床山の 8 合目付近にある。寺には転石を利用した庭園があり、その背後には屏風のような急崖を望むことができる。海側を望むと、山頂部が概ね一定高さの平坦な丘陵地が眼下に広がっている。この平坦面には都野津層と称される未固結の海成または河成の堆積物が分布しており、海水準が高かった頃を想像しながら地形の成り立ちを考えることができる。また、清水地区から沖泊へ続く銀山街道を望むことができる。

寺にはお寺カフェがあり、珈琲のほか予約制で精進料理が提供されている。今回は昼食に 3500 円の精進料理を予約し、栗ご飯、無花果の天ぷら、松茸の吸物等、旬のもの 10 品を食した。寺は街道からやや外れるが散策時の休憩場所によいと思った。



写真-2 清水大師寺の庭園と崖面



写真-3 境内から望む定高性の丘陵地

5. 銀山街道（温泉津・沖泊道）

温泉津・沖泊道は、中世から昭和期を通じて銀や生活物資の運搬に利用されたおよ

そ 14km の街道であり、大森町の石見銀山遺跡から竜源寺間歩、降路坂、温泉津町西田、清水を通過して港町の沖泊へ至る。堂床山の近くの街道沿いには、清水の金柄杓(写真-4)、清水の石切り場(写真-5)、石階段(写真-6、写真-7)等の観光スポットがある。



写真-4 清水の金柄杓



写真-5 清水の石切り場



写真-6 石階段(清水の石切り場近接)



写真-7 石階段(松山の道標側)

(清水の金柄杓)

大森代官が水のおいしさに感心し金柄杓を奉納したのが名の由来である。現在でも湧き水を飲むことができる。

(清水の石切り場)

福光石と呼ばれる火山礫凝灰岩(久利層)の石切り場である。石階段に近接しており、切り出した石を階段等に利用したと思われる。

(石階段)

石階段は、清水の石切り場と松山の道標側の2箇所があり、いずれも加工しやすい福光石が使用されている。

6. まとめ

石東地域には自然が作り出した独特でおもしろい地形や地質が多い。技術士は地形の成り立ちや奥深さをわかりやすく伝えることで、子供をはじめ住む人、訪れる人に自然へ愛着をもってもらえることができる。自然への関心は、地震や豪雨等の災害に対する意識の向上や自己の防衛にも役立つと思われる。

今回研究対象とした地域の地形や地質のほか、様々な景観や地域の歴史、行事等、子ども達が自分の町を誇らしく語れるようになることが地域振興につながる。

以上